

プレポリマー取扱説明書

(PS-1000、PS-2000、PSNY-3000、PSNY-6、PSNY-10)

1. はじめに



(写真：池上本門寺)

「プレポリマー」は木造文化財の腐朽や虫害による損傷部位の強化措置として、木材の内部に合成樹脂を注入し、木材の強化及び寸法安定性を付与する研究の集大成として開発されました。

プレポリマーは木材内部に浸透、反応し、木材を強化、防湿や防腐性能を向上させます。

日本各地の重要文化財や国宝に使用されており、また神社仏閣や史跡の保存工事にも数多くの実績がございます。

2. 特徴

- (1)一液型で非常に優れた木質への浸透性を持ち、腐朽した木部の内部まで浸透して木質成分や水分と反応して樹脂化し木質の強度を回復します。
- (2)腐朽部の木材質を強化し、劣化や腐朽の進行及び白アリなどの害虫食材を防止し、木部の強度の向上や長期保存に大きな効果を発揮します。
- (3)含浸部分の耐水性を向上させ、腐朽部への水の浸透を防止して腐朽菌の増殖を防止します。

3. 用途

神社仏閣の建物や門、あるいは天然記念物の樹木(ケヤキ、サクラ、杉、桂など)等の腐朽防止、保存、老朽化対策、補強等に使用されています。

4. 注意点

木材、樹木への浸透性は「含水率」に大きく影響されます。含水率が高いと塗料が浸透しにくくなり、プレポリマー本来の性能が発揮できず、耐久性や防腐性が損なわれる場合があります。

含浸処理効果を高める為には、腐朽部など対象部分が乾燥状態にあることが望ましく、梅雨期を避けて出来るだけ乾燥期に施工してください。

また木質部の老朽化や劣化の度合いによっては、1回の注入では目的が達成されず、劣化や腐朽が進行する場合があります。その場合は浸透・固化を確認しながら追加施工を実施してください。

5. 使用方法

- (1) プレポリマーの含浸性を高める為に施工前に1～2倍の専用シンナーを加え、希釈、攪拌してください。
プレポリマーを原液のまま使用しますと、含浸しなかったり、泡が発生しますので、避けてください。
- (2) 耐溶剤性の手袋をはめ、刷毛やスポンジを用い、ゆっくりと塗布・浸透を繰り返して、充分含浸させてください。
- (3) 含浸せず表面に残ったプレポリマーは乾燥する前にシンナーを含ませた布で拭き取って、艶を出さないようにしてください。

6. 注意事項

- (1) 保管にあたっては、容器の蓋をきちんと閉めて密閉してください。保管の際は火気厳禁を励行し、直射日光や高温・多湿を避け、冷暗所に保管してください。また幼児の手が届かない場所で保管ください。
- (2) 溶液が肌に触れたときは直ぐにウエス等で拭き取り、石鹼で洗ってください。
万一、目に入った場合はしばらくの間、流水で洗眼し、すぐに眼科医の診断を受けてください。
- (3) 一度容器から出した材料は元の容器に戻さないで別容器に保管し、出来るだけ早くご使用ください。
- (4) シンナーについては必ず専用シンナーをご使用ください。シンナーによっては不純物が多く含有されており、乾燥性が悪く、製品性能を低下させるものがあります。
希釈には必ず専用シンナーをご使用ください。
- (5) 仕上がり具合は事前にテスト塗り等してご確認ください。想定した色調や質感にならなかったり、組み合わせや材質によっては思いがけない変化を起こす場合があります。また使用環境で期待する効果が得られるかどうか合わせてご確認ください。特に初めてご使用される場合は注意が必要です。
- (6) 使用済みの塗装用具などは、使用后すぐにシンナーで良く洗浄してから保管してください。
- (7) 本製品使用にあたっては「薬剤による治療」という観点ではなく、木質部を可能な限り長期にわたって保存し、形状を保ちつつ生存部の保護と成長を補完するという考え方でご使用ください。
- (8) 腐朽菌の殺菌や直接的な防除の場合、農薬や薬品の使用が必要になりますので、専門的見地から別途ご検討のうえ、本製品と併用してください。

特殊塗料専門メーカー

ISO-9001 認証

 **寿化工株式会社**

www.kotobukikakou.co.jp

〒346-0111 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎724-1

TEL:0480-85-1045 FAX:0480-85-2204

